

## 6月市議会定例会

### 一般質問

6月16日(火)から6月18日(木)の3日間の日程で、12人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約して紹介します。各議員の全ての質問内容はホームページでご覧になれます。



質問内容詳細

6月16日(火)

#### 自民クラブ

田窪 秀道議員 (30分)



- (1) 副市長について
- (2) 財源確保について

① にいはま営業本部

② 公共施設再編計画

**問** 計画策定時における施設数と棟数は196施設379棟だったが、計画策定から8年が経過した現時点で削減できた施設数と棟数はいくつか。

また、進捗率はどのようなか。

**答** 令和8年3月末時点における公共施設再編計画の対象となる施設数は、計画策定時と比較

して15施設、30棟減の181施設349棟となっている。

また、進捗率は、将来費用の削減額で6・4%、削減床面積で14・6%となっている。

(3) 企業用地確保と市宮渡海船について

(4) 災害協定を通じた地元企業育成と防災力強化について

**問** 総合倉庫には市のさまざまな資材や部材が混在し、発災時の資材取り出しに大変苦労している。災害を最小限に食い止めるために総合倉庫の改良、整理が必要だが、市の考えを伺う。

**答** 総合倉庫には、現在多くの部署が資材を確保しているが、災害時に迅速な対応ができるよう、適切な整理に努める。

(5) 別子山地区における過疎地域持続的発展計画について

① 別子木材センター

② 観光振興

③ 別子山地区の将来像

#### 公明党議員団

黒田 真徳議員 (30分)



(1) 中小企業と小規模事業者支援について

**問** 中東情勢による出荷停滞などキャッシュフロー悪化に対応

するため、緊急利子補給制度や信用保証料助成の拡大など迅速な金融対策を図るべきと考えるが、所見を伺う。

**答** 令和8年4月より中小企業振興資金(長期)および中小企業緊急経営資金の融資限度額と融資期間の一部拡充、延長を行っており、事業者の資金繰りの安定化につながっているものと考えている。

また、資金繰りが厳しい状況にある事業者の資金調達時の負担軽減につながることから、融資実行時における保証料の助成や新たな利子補給制度について検討していく。

(2) 公共工事について

(3) 自転車の利用について

(4) 大島の活用について

(5) 教員の負担軽減について

(6) 認知症サポーターについて

**問** 本市の認知症サポーターの養成状況と活動実績、また、養成講座終了後のステップアップ研修や、ボランティア活動への参加促進をどのように進めているのか伺う。

**答** 養成講座開始からの累計受講者数は、延べ2万7千517名で、活動実績としては、養成されたサポーターが、地域での見守り

活動や声かけなど、生活の中で無理のない範囲で支援を実践している。養成講座終了後は、認知症に関する理解をさらに深めるステップアップ講座を実施しており、受講者にチームオレンジのメンバーとしてボランティア活動に参画してもらうなど、ボランティア活動への参加促進に努めている。

(7) エシカル消費について

(8) 傾聴A-1について

#### みらい新居浜

篠原 茂議員 (30分)



(1) 今後の重要施策について

① 人口減少対策

② 経済活性化と都市計画

③ 経済対策と企業誘致

**問** 企業誘致や産業振興を進めるには、市と商工会議所、金融機関、地元企業が総力を結集した取り組みが必要だが、その現状と今後の企業誘致推進策はどうなっているのか伺う。

**答** 企業誘致の推進については、本市の実情に即した施策を着実に実施することが重要と認識している。現在の取り組みとしては、関係機関と連携し、定期的な意見交換や情報共有を通

じ、企業ニーズや経済動向に加え、民間所有の産業用地に関する情報の把握に努めている。

今後については、関係機関との連携を一層強化し、情報共有の充実を図るとともに、企業ニーズや民間用地の活用を踏まえた施策の展開により、企業誘致のさらなる推進に努める。

(2)自治会と地域運営組織を融合した新しいコミュニティづくりについて

①自治会の現状

②地域運営組織

③人口減少時代の新しい仕組み

**問** 従来からある自治会と現在試行している地域運営組織が結び付くことでどのような姿が見えてきたか。

また、人口減少社会に対応したまちづくりの方向性はどうあるべきと考えるか伺う。

**答** 地域運営組織を構成する一つの団体として自治会が存在しており、人口減少や自治会加入率低下といった厳しい状況の中、地域コミュニティを持続的に維持していくためには、自治会をはじめとする地域団体の負担軽減を図り、地域活動との関わりが少くない非自治会員を含めた多様な人材の参画を促進し

ていく必要がある。

また、人口減少に対応したまちづくりの方向性として、スマートシユリンク、賢く縮むという視点に立ったまちづくりが重要であると考えている。

6月17日(水)

無会派

伊藤義男議員(10分)



(1)情報公開請求及び住民監査請求について

(2)知事選出馬要請の公務性について

(3)こども・子育て複合施設について

(4)市が管理する施設設備の安全性について

(5)新型コロナウイルスワクチン接種事業の検証について

(6)DonDonにいはまについて

自民クラブ

大條雅久議員(30分)



(1)市民課の窓口について

①書かない窓口

②出生者数と死亡者数

③おくやみコーナーの対応キャラクター

(2)小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本計画について

①基本計画策定後の現状

②基本計画の見直し

**問** 令和5年の策定から3年で既に児童生徒数が基本計画における将来推計の10年先程度まで進んでしまっている。今すぐ計画の前倒し、見直しに取りかかるべきと考えるが所見を伺う。

**答** 急速な児童生徒数の減少に対応するため、当初の予定を前倒しした見直し案を今年度中に取りまとめ、令和9年度には新たな基本計画を策定することを目標に、取り組みを進めている。将来推計については、直近の出生数や住民基本台帳に基づく最新データに加え、国勢調査の結果なども参考に、より実態に即した推計を再作成し分析を進める。見直し内容については、統廃合を軸に学校再編を進める方針の下、学校を取り巻く環境の変化なども踏まえ、将来にわたって持続可能な再編の在り方について検討していく。

(3)地域コミュニティ基本指針について

①自治会活動への支援

②自治会長さんのための便利帳

③支援の目的と意義

**問** 新居浜市広報活動等事業の補助額について、市連合自治会活動事業は1世帯40円から35円に、校区連合自治会活動事業は1世帯50円から45円に、単位自治会活動事業費は1世帯600円から550円に減額した目的と意義について伺う。

**答** 本市の財政調整基金が著しく減り、財政状況もよくないところが根底にあると考えている。大規模災害発生時に、今のままの財政調整基金では心もとない状況であり、地域にあまり負担をかけることなく、財政調整基金をある一定規模までは積み増していくところに主眼を置き、予算編成を行っている。それぞれの施策とのバランスの中で、少しずつ回復していきたいと考えてシーリングをかけているところである。

無会派

井谷幸恵議員(10分)



(1)生活保護について

①生活保護費追加給付

②生活保護受給者の生活実態

(2)文化財の保存、活用について  
(3)サポートルームについて

無会派  
加藤昌延議員 (10分)



(1)ケアマネジャー不足と相談支援体制の確保について

①現状認識

②業務外の負担の実態と業務範囲の明確化

③ICT・A活用による負担軽減

④資格更新研修負担

⑤カスタマーハラスメント対策

⑥地域包括支援センターへの影響

公明党議員団

河内優子議員 (30分)



(1)市職員の人材確保について

①採用及び育成

②窓口時間短縮

③カスタマーハラスメント対策

**問** 理不尽な要求や暴言などのカスハラは、過度なストレスになり、心身の不調につながる。職員が働きやすい職場をつくるため、カスハラ対策の推進について考えを伺う。

**答** 労働施策総合推進法改正の趣旨を踏まえ、カスハラに関する基本方針を策定するとともに、対応マニュアルの整備を進め、組織として適切に対応できる体制づくりに取り組む。具体的な対策としては、今年度、本庁舎の電話交換機の更新時に、通話録音装置を設置する予定としており、現在必要な機能や運用方法などについて検討を進めている。

(2)下水汚泥の肥料化など有効利用について

(3)上下水道管の管理

(4)高齢者就労支援について

(5)教育行政について

①いじめ対策

②小中学生の自殺防止対策

**問** 全国の小中学生自殺者が過去最多となり、生きづらさを抱えている児童生徒が増加している。尊い命を守るため、一人一人に寄り添った心の支援体制と自殺予防教育についての考えを伺う。

**答** タブレット端末を活用した心の健康観察を毎月実施し、言葉にできない小さなSOSの早期発見に努めているほか、いじめホットラインなどの利用に関する周知啓発を行っている。

また、状況に応じて専門的知見を有したスタッフを迅速に派遣し、関係機関と緊密に連携し、学校と地域全体で命を守るセーフティーネットを稼働している。

自殺予防教育については、子どもたちが多様なストレスに直面した際のSOSの出し方に関する教育や、命の大切さなどを体感する取り組みを実施している。

③セカンドブック事業

6月18日 (木)

無会派

片平恵美議員 (10分)



(1)自転車通行環境の整備について  
(2)働きやすい職場づくりについて  
(3)中東情勢を踏まえた中小零細業者支援について

自民クラブ

渡辺高博議員 (30分)



(1)にいはま営業本部の成果目標と改善策について

①昨年度の総括と今年度の目標

②ふるさと納税の特徴と目標額

**問** 初年度目標未達の要因分析

と総括、今年の成果目標、ふるさと納税の費用対効果について伺う。

**答** 目標未達の主な要因は、ふるさと納税の寄付額が伸びなかったことであり、選ばれる返礼品の提供や新規寄付者の獲得などに課題があったと分析しており、営業活動を戦略的に推進しながら、成果目標額をより意識した取り組みが必要であったと考えている。

また、成果目標額12億円の達成に向け、昨年度の反省を踏まえ、本市製品の掘り起こしなど魅力ある返礼品の提供に向け委託事業者と連携して進めている。費用対効果については各ポータルサイトへの広告を、効果的、効率的に運用し、寄付額の増加と費用対効果の向上を目指していく。

③新たな方策

④市長の覚悟

(2)地域おこし協力隊を活用した健康なまちづくりについて

①地域おこし協力隊の現状と認識

②大学や専門機関との連携

③ヘルスケアと地域おこし先進モデルの構築

**問** 地域おこし協力隊を健康づ



← 新居浜市議会のホームページへ  
映像配信や会議録でさらに詳しく！

くりを担う戦略的人材として再整理し、学校、企業と連携したヘルスケアと地域おこしの先進モデルを構築していくことについて、考えを伺う。

**答** 人口減少や高齢化の進展に伴い、健康寿命の延伸や地域活力の維持向上は、本市にとって喫緊の課題であり、ヘルスケアと地域おこしの先進モデルの構築は、生涯を通じた健康づくりを推進し、持続可能な地域づくりを進めるうえで有効な方策の一つと認識している。しかし、先進モデルの構築については、目的やターゲットの明確化、継続的な財源の確保、関係主体との役割分担、成果指標の設定など、制度設計を十分に行う必要があるものと考えており、本市の実情に即した形での導入の可能性について先進事例の調査研究を進めていきたいと考えている。

無会派  
小野 志保議員（10分）



(1) 共生社会の実現について

① 高齢者及び障がい者の社会参加の促進

② スポーツを通じた健康づくりと介護予防  
③ 体育施設使用料減免制度の拡充

(2) 手話言語条例について

みらい新居浜

野田 明里議員（30分）



(1) A I時代における対話を生かした市政運営について  
(2) 男女共同参画のこれからについて

(3) 女性の経験を生かした活躍の場の創出について

**問** 美容サロンなど、利用者との信頼関係を築きやすい事業者と連携し、子育て支援や相談、利用者の声を市政へフィードバックする新たな仕組みづくりを行うのはどうか。

**答** 民間事業者と行政をつなげる仕組みとして、まずは子どもや子育てに関する相談窓口の周知を図るため、必要な相談先の情報源となる子育て支援に関する冊子の設置などに協力いただける事業者を募集し、子育てサポーター店として位置づけ、ウェブアンケートフォームの活用などにより、事業者が利用者から感じ取った課題やニーズの

情報提供がしやすい仕組みなどの検討を行っていきたいと考えている。

(4) 市民との接点を広げる広報戦略について

① 多様な媒体を活用した情報発信

② 新居浜との継続的な関係づくりに向けた新たな情報発信

**問** 市政との関わり方が異なるさまざまな人との継続的な関係づくりや市政参加につなげる広報戦略の現状と今後について伺う。

**答** 市政広報番組について、市民からは、市の取り組みが分かる。

りやすくなった、これまで本市に縁のなかった人からは、新居浜を訪れたくなったとの声をいただいております、関心人口が増えていることで、将来の交流人口や定住人口の拡大に向けた成果につながると受け止めている。

また、市政への関心の度合いにより、必要とされる情報やアプローチの方法は異なってくるが、市政への理解と参画につなげていくことが重要と考えており、市政だよりやSNSなどの各媒体間を連動させ、異なる層への情報発信の両立に努めている。

## 9月市議会定例会

時間 午前10時開会（市民福祉委員会は午後1時30分開会）  
本会議はCATV112チャンネルで生中継と録画放送、市議会ホームページで動画配信を行っています。

| 開催日       | 内 容                                                                                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月 1 日(火) | 議案上程、説明、質疑、委員会付託                                                                                                  |
| 9月 8 日(火) | 一般質問・伊藤 優子議員 (40分)<br>予算質疑・藤原 雅彦議員 (40分)<br>(代表) 篠原 茂 議員 (40分)                                                    |
| 9月 9 日(水) | 一般質問・小野 志保議員 (10分)<br>伊藤 義男議員 (10分)<br>片平 恵美議員 (10分)<br>予算質疑・加藤 昌延議員 (10分)<br>(個人) 大條 雅久議員 (30分)<br>野田 明里議員 (20分) |
| 9月10 日(木) | 一般質問・仙波 憲一議員 (30分)<br>井谷 幸恵議員 (10分)<br>越智 克範議員 (30分)<br>予算質疑・高塚 広義議員 (30分)<br>(個人) 山本 健十郎議員 (10分)                 |
| 9月11 日(金) | 市民福祉委員会開催<br>経済建設委員会開催                                                                                            |
| 9月14 日(月) | 企画教育委員会開催                                                                                                         |
| 9月17 日(木) | 委員長報告、討論、採決                                                                                                       |